

年間のゴールの姿

自らの目標に向かって学びを進める輪島っ子

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
進んで学びを深め、考えを表現し伝える力が弱い。	<p>○児童は自己決定した内容について意欲的に取り組めるようになってきた。</p> <p>▲単元末テストにおいては、全体のおよそ4分の3の児童が期待平均点を超えている。</p> <p>▲「自分の目標に向かって学習を進める」「自己決定して学ぼうとする」などの学びの主体性が十分とは言えない。</p> <p>▲課題を捉え、「考える」場面において自分の考えをもち、表現する力が弱い。</p> <p>[根拠となるデータ]</p> <p>前期プラン 診断テスト「単元末テスト」期待平均値以上を超えた割合 73.8%</p> <p>R7 全国学力学習状況調査 算3(2) 正答率 20.9% 誤答率 55.5% 無回答率 23.8%</p> <p>※分数の加法について、共通する単位分数を見出し、加数と被加数が、共通する単位分数のいくつかを数や言葉を用いて記述できるかをみる。</p> <p>R7 全国学力学習状況調査 算3(3) 正答率 28.5% 誤答率 53.9% 無回答率 17.4%</p> <p>※数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつかとしてとらえることができる。</p>

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・輪島っ子スタンダード授業スタイルを基にした授業実践を行い、導入の工夫を行う。 ・児童のつまずきの例とそれに対する支援を用意して授業に臨む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果検証「自己決定したことに取り組めたか」 (児童) 80% ・実施検証①「自己決定につながるような導入を意識して行った」 100% ②「児童のつまずき例と支援を事前に用意し、授業中見取りと支援を行った」 100% ・診断テスト「単元末テスト」期待平均値以上を超えた割合 75% ・授業検証「ねらいを達成している」(毎月) 80% 	

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価項目 (誰が、いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
9	<input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート (学担・級外 月末) ①「導入の工夫」 ②「見取りと支援」 <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト (適時) 期待平均値以上 <input type="checkbox"/> 授業検証 (中学年研究授業・洞口教諭を含む)	87.9% ①91.9% ②91.9% 74.6% 研授 52% 他 83.7%	<p>○夏休み中の全体研で2学期の研究の重点を確認したため、「導入の工夫」について共通理解して取り組むことができている。</p> <p>▲9月はテスト実施が少なかったものの、期待平均点を半数以上が超えていない結果もあった。単元末までの継続した学習内容の定着を意識していく必要がある。</p>
10	<input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート (学担・級外 月末) ①「導入の工夫」 ②「見取りと支援」 <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト (適時) 期待平均値以上 <input type="checkbox"/> 授業検証 (計画訪問 左古・田下教諭授業を含む)		
11	<input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート (学担・級外 月末) ①「導入の工夫」 ②「見取りと支援」 <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト (適時) 期待平均値以上 <input type="checkbox"/> 授業検証 (低学年研究授業・大森教諭を含む)		
12	<input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート (学担・級外 月末) ①「導入の工夫」 ②「見取りと支援」 <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト (適時) 期待平均値以上 <input type="checkbox"/> 授業検証 (高学年研究授業・頼政教諭を含む)		

前期 (I 期) 取組の成果○・課題▲

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
能動的に話を聴き、それに対する自分の考えを伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然な反応をしながら聴いている児童を評価し、価値付けていく。 ・考えを交流することの良さや見本となる姿を具体的に示したり、考えを積極的に話している児童を評価したりして価値付けていく。 <p>※目標値肯定評価80%。児童のふりかえり調査から検証。</p>	

年間のゴールの姿

自らの目標に向かって学びを進める輪島っ子

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童生徒の課題	現状と要因・根拠となるデータ
進んで学びを深め、考えを表現し伝える力が弱い。	<p>○児童は自己決定した内容について意欲的に取り組めるようになってきた。</p> <p>▲単元末テストにおいては、全体のおよそ4分の3の児童が期待平均点を超えている。</p> <p>▲「自分の目標に向かって学習を進める」「自己決定して学ぼうとする」などの学びの主体性が十分とは言えない。</p> <p>▲課題を捉え、「考える」場面において自分の考えをもち、表現する力が弱い。</p> <p>[根拠となるデータ]</p> <p>前期プラン 診断テスト「単元末テスト」期待平均値以上を超えた割合 73.8%</p> <p>R7 全国学力学習状況調査 算3(2) 正答率 20.9% 誤答率 55.5% 無回答率 23.8%</p> <p>※分数の加法について、共通する単位分数を見出し、加数と被加数が、共通する単位分数のいくつかかを数や言葉を用いて記述できるかをみる。</p> <p>R7 全国学力学習状況調査 算3(3) 正答率 28.5% 誤答率 53.9% 無回答率 17.4%</p> <p>※数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数のいくつかとしてとらえることができる。</p>

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的取組	評価項目	評価
<ul style="list-style-type: none"> ・輪島っ子スタンダード授業スタイルを基にした授業実践を行い、導入の工夫を行う。 ・児童のつまずきの例とそれに対する支援を用意して授業に臨む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果検証「自己決定したことに取り組めたか」 (児童) 80% ・実施検証①「自己決定につながるような導入を意識して行った」 100% ②「児童のつまずき例と支援を事前に用意し、授業中見取りと支援を行った」 100% ・診断テスト「単元末テスト」期待平均値以上を超えた割合 75% ・授業検証「ねらいを達成している」(毎月) 80% 	

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価項目 (誰が、いつ)	結果	取組の成果○・課題▲
9	<input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート (学担・級外 月末) ①「導入の工夫」 ②「見取りと支援」 <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト (適時) 期待平均値以上 <input type="checkbox"/> 授業検証 (中学年研究授業・洞口教諭を含む)	87.9% ①91.9% ②91.9% 74.6% 研修 52% 他 83.7%	<p>○夏休み中の全体研で2学期の研究の重点を確認したため、「導入の工夫」について共通理解して取り組むことができている。</p> <p>▲9月はテスト実施が少なかったものの、期待平均点を半数以上が超えていない結果もあった。単元末までの継続した学習内容の定着を意識していく必要がある。</p>
10	<input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート (学担・級外 月末) ①「導入の工夫」 ②「見取りと支援」 <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト (適時) 期待平均値以上 <input type="checkbox"/> 授業検証 (計画訪問 左古・田下教諭授業を含む)		
11	<input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート (学担・級外 月末) ①「導入の工夫」 ②「見取りと支援」 <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト (適時) 期待平均値以上 <input type="checkbox"/> 授業検証 (低学年研究授業・大森教諭を含む)		
12	<input type="checkbox"/> 児童アンケート (学担 月末) <input type="checkbox"/> 職員アンケート (学担・級外 月末) ①「導入の工夫」 ②「見取りと支援」 <input type="checkbox"/> 客観的評価テスト (適時) 期待平均値以上 <input type="checkbox"/> 授業検証 (高学年研究授業・頼政教諭を含む)		

前期 (I 期) 取組の成果○・課題▲

2 基盤づくり

目標	具体的取組	評価
能動的に話を聴き、それに対する自分の考えを伝えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然な反応をしながら聴いている児童を評価し、価値付けていく。 ・考えを交流することの良さや見本となる姿を具体的に示したり、考えを積極的に話している児童を評価したりして価値付けていく。 <p>※目標値肯定評価80%。児童のふりかえり調査から検証。</p>	

